

intra-mart WebPlatform/AppFramework  
Ver.7.2

# ポータル WSRP 管理者 操作ガイド

❖ 変更履歴

---

変更年月日	変更内容
-------	------

---

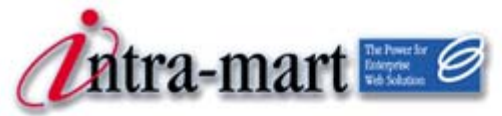
2010/04/01 初版	
---------------	--

---

# Contents

第1章 WSRP	1
1.1 WSRPについて	2
1.1.1 WSRPとは	2
1.1.2 プロデューサ	3
1.1.3 コンシューマ	4
1.2 WSRPプロデューサの管理	6
1.2.1 プロデューサ設定	6
1.2.2 プロデューサー一覧	7
1.3 WSRPコンシューマの管理	18
1.3.1 コンシューマ設定	18
1.3.2 登録プロデューサー一覧	19
1.4 WSRPポートレットの利用	25
1.4.1 ポートレット一覧への追加	25
1.4.2 追加したWSRPポートレットの利用	27





**intra-mart WebPlatform/AppFramework**

## 第1章 WSRP

# 1.1

# WSRPについて



## 1.1.1 WSRPとは

WSRP (Web Services for Remote Portlets) とはWebサービス・ポートレット仕様であり、OASIS (インターネットに関する国際的な標準化団体) が作成した WSRP 1.0 標準に基づいています。

❖ WSRP 1.0 標準参照URL:

[http://www.oasis-open.org/committees/tc\\_home.php?wg\\_abbrev=wsrp](http://www.oasis-open.org/committees/tc_home.php?wg_abbrev=wsrp)

intra-martではWSRPポートレットの利用を可能にしています。

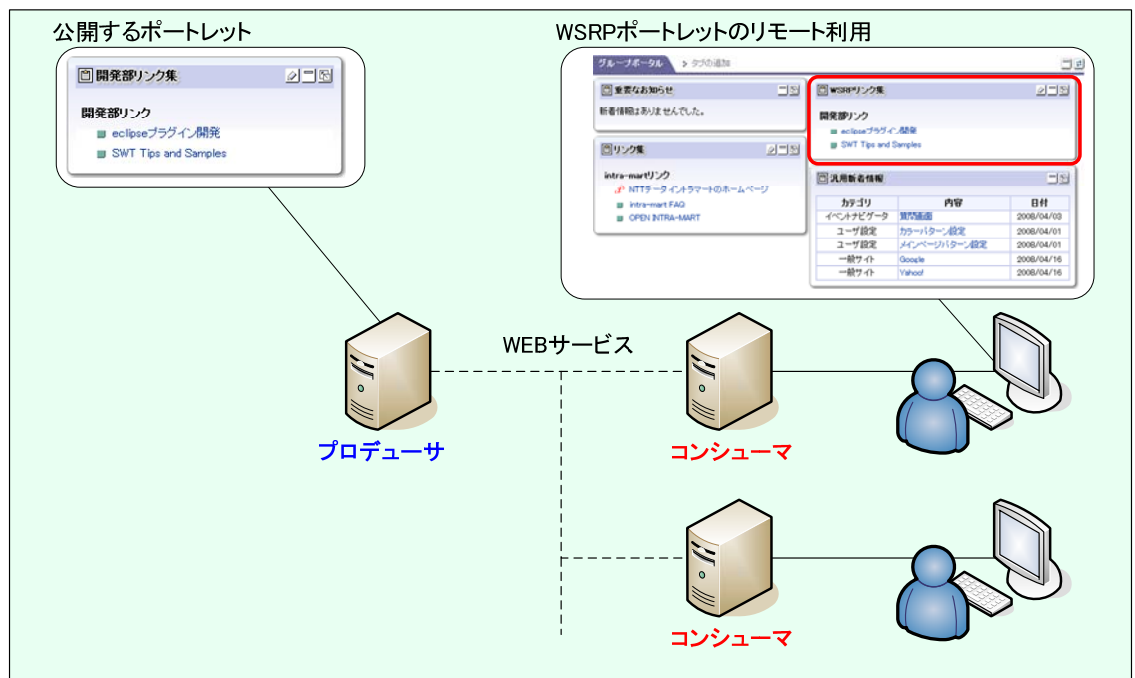
Webサービスを介してポートレットを使用するために次の二つの機能があります。

### ■プロデューサ

ポートレットをWSRPポートレットとして管理し、公開する役割を持ちます。

### ■コンシューマ

プロデューサにWebサービスにより接続し、公開されたポートレットを取得し表示します。



<WSRP概要図>

WSRPを利用することにより、プロデューサが公開しているポートレットは、コンシューマ側のサーバーにデプロイしなくてもWebサービスによる呼出だけで利用することが可能です。



## 1.1.2 プロデューサ



### 1.1.2.1 プロデューサについて

プロデューサはローカルで管理しているポートレットをWSRPポートレットとして公開することができます。

WSRPとして公開されたポートレットがコンシューマ側で利用可能となります。

プロデューサは新規作成時にコンシューマ側で登録する際に必要となるWSDL URLを生成します。

また、プロデューサはこのプロデューサを利用しているコンシューマを登録コンシューマとして管理します。



### 1.1.2.2 Inband登録/Outband登録について

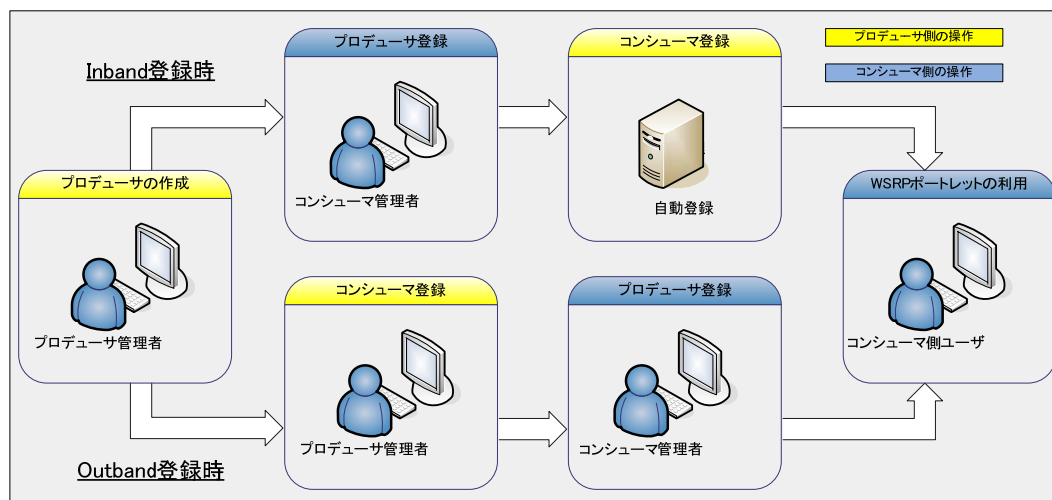
プロデューサはコンシューマを登録する際の登録方法をあらかじめ設定することができます。登録方法には次の2つがあります。

#### ■ Inband登録

コンシューマがWSDL URLを設定して利用登録することでプロデューサに自動登録されます。また、コンシューマ側で登録情報の更新、削除を行うことができます。

#### ■ Outband登録

コンシューマはWSDL URLを設定して利用登録するために登録ハンドルが必要となります。Inband登録と違いプロデューサ側であらかじめ登録するコンシューマを登録コンシューマとして作成します。登録コンシューマが作成されると登録ハンドルも作成されるので、プロデューサ側の管理者はその登録ハンドルをコンシューマ側の管理者に伝える必要があります。コンシューマ側で登録プロデューサの更新、削除を行っても登録コンシューマは更新、削除されることはありません。プロデューサ側で手動で更新、削除をする必要があります。



〈WSRPポートレット利用までの登録フロー〉



- プロデューサはInband登録をサポートする／しないを選択できます。
- プロデューサ側がInband登録をサポートしないを選択した場合、コンシューマ側では自動的にOutband登録となります。
- プロデューサ側がInband登録をサポートするを選択した場合、コンシューマ側でInband登録を行うか、Outband登録を行うかを選択することになります。



### 1.1.2.3 登録コンシューマについて

登録コンシューマとは、該当のプロデューサに利用登録されているコンシューマを示しています。コンシューマ側でプロデューサ登録を行ったときに自動生成される場合（Inband登録）とプロデューサ側で手動で作成する場合（Outband登録）があります。

#### ■ 登録ハンドルについて

登録コンシューマは作成時に必ず「登録ハンドル」を生成します。登録ハンドルはプロデューサ側とコンシューマ側が互いに所持しており、プロデューサ側が登録の管理を行うために存在します。



## 1.1.3 コンシューマ



### 1.1.3.1 コンシューマについて

コンシューマはプロデューサを登録プロデューサとして管理します。

登録プロデューサ作成時にはコンシューマ自身がプロデューサに利用登録することになります。また、あらかじめプロデューサ側で利用登録済みの情報を使い登録プロデューサを作成することもできます。利用登録する際に必ず「WSDL URL」が必要となります。

コンシューマが登録プロデューサを管理することで、そのプロデューサの公開するポートレットをポータルに登録することができます。ポータルで利用する際にはコンシューマがプロデューサにアクセスしポートレットをリモートで利用することになります。



### 1.1.3.2 登録プロデューサについて

登録プロデューサとは、該当のコンシューマが利用登録したプロデューサを示しています。プロデューサに設定されている登録方法に従い登録することができます。

Inband登録を選択した場合は登録時に必要な情報はありません。コンシューマ側からプロデューサ側の登録コンシューマを自動生成しプロデューサの利用登録を行うことが出来ます。また、コンシューマ側で登録コンシューマを更新することが可能です。更新できる内容は登録プロパティの値となります。



Outband登録を選択した場合は新規登録時に「登録ハンドル」を入力する必要があります。プロデューサ側の登録コンシューマ情報を更新することはできません。



Column

## SSLのサポートについて

プロデューサ・コンシューマ間の通信では、それぞれのWebサーバあるいはアプリケーションサーバがSSLをサポートしている場合、SSLの利用が可能です。

プロデューサでは、グループ管理者でログイン時に、SSLでアクセスした場合、WSDL URLが「https://」で作成されます。（表示時に編集されるため、プロデューサ編集画面を表示するたびに変更されます。）

コンシューマでは、このURLを利用してプロデューサに利用登録することでSSLを利用することが可能です。

ただし、コンシューマでSSL経由でWSRPポートレットを利用するためには、コンシューマ側のintra-martにSSL経由でログインする必要があります。非SSLのコンシューマから、SSLのプロデューサにアクセスはできません。

また、SSLをサポートしているプロデューサ側がHTTPでのアクセスも許可している場合で、WSDL URLを「http://」で設定した場合は、コンシューマにSSL経由でログインした場合も、SSLを利用せずにWSRPポートレットが利用できますので、注意してください。

# 1.2

## WSRPプロデューサの管理

プロデューサでは、公開するポートレットの管理と利用しているコンシューマの管理を行います。公開するポートレットの種類や利用方法など、目的別に複数のプロデューサを作成することができます。



### 1.2.1 プロデューサ設定

プロデューサ設定画面ではプロデューサをコンシューマに公開する際に使用されるWSDL URLの構成を設定することができます。

- 1 左のメニューから[ポータル]>[WSRPプロデューサ]>[プロデューサ設定]をクリックします。各項目を入力後、[設定]ボタンをクリックします。

<プロデューサ設定画面>

**プロデューサホスト(必須)**

WSDL URLのホストを設定します。

**プロデューサポート**

WSDL URLのポートを設定します。未入力の場合は空になります。

**プロデューサコンテキスト**

WSDL URLのコンテキストを設定します。未入力の場合は空になります。



- 初期表示時に設定されている値はサーバーのリクエストから取得した値です。
- ここで設定した値は、Permanent-Data Serviceにより保存されます。



## 1.2.2 プロデューサー一覧

プロデューサー一覧では、登録されているプロデューサの一覧表示と、プロデューサの作成、更新、削除などをおこないます。

1 左のメニューから[ポータル]>[WSRPプロデューサ]>[プロデューサー一覧]をクリックします。

The screenshot shows the 'Producer List' page in the WSRP administrator interface. The page includes a navigation menu on the left, a header with 'HOME', 'LOGOUT', and 'MENU ON/OFF', and a main content area with a table of producers. The table has columns for '編集', 'コンシューマ管理', 'プロデューサ名', and '有効'. One producer, 'ImDefaultProducer', is listed with a checked '有効' checkbox.

<プロデューサー一覧画面>

### 有効チェックボックス

プロデューサの状態を変更できます。変更は即座に反映されます。

チェック有り:有効 / チェック無し:無効

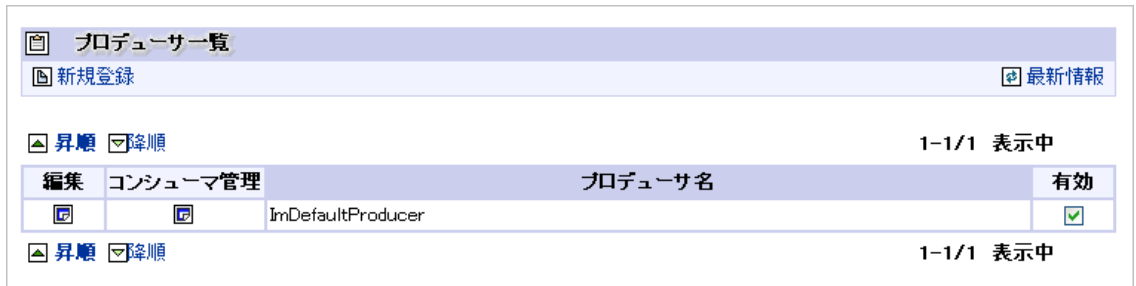


- プロデューサには初期データとして「ImDefaultProducer」があります。  
ImDefaultProducerは公開ポートレットにリンク集が設定され、Inband登録をサポートしています。
- 初期状態で利用可能となっているため、別サーバのコンシューマが有効なWSDL URLとim\_userプロパティを入力すれば、利用されてしまう可能性がありますので注意してください。



## 1.2.2.1 プロデューサ新規登録

1 プロデューサー一覧画面のタイトルバーにある[新規登録]をクリックします。



<プロデューサー一覧画面>

2 プロデューサ新規登録画面でプロデューサ名を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



<プロデューサ新規登録画面>

### プロデューサ名(必須)

プロデューサの名称です。

入力可能文字は半角英数字のみです。



- [次へ]ボタンをクリックした時点でプロデューサが作成され登録されます。作成されたプロデューサは公開ポートレットが無く、状態は無効となっています。

3 プロデューサ編集画面で状態を有効にし、公開するポートレットを選択します。最後に[更新]ボタンをクリックします。

<プロデューサ編集画面>

<b>WSDL URL</b>	コンシューマがプロデューサを利用するために使用するURLです。プロデューサ設定画面で設定した内容とプロデューサ名により構成されています。
<b>状態</b>	プロデューサが利用可能かどうかの状態です。無効の場合は全てのコンシューマがこのプロデューサを利用できなくなります。
<b>ポートレット(必須)</b>	公開するポートレットの選択ができます。選択できるポートレットの一覧はローカルで管理されるポートレット(ポートレット一覧画面に表示されるポートレット管理先が「ローカル」、公開フラグが「公開」)のうち表示先ポータル種別が「ユーザポータル」のポートレットです。  一つ以上の選択が必須となります。
<b>Inband登録</b>	Inband登録をサポートする場合は、コンシューマがプロデューサ登録時にInband登録を選択することができます。  サポートしない場合は強制的にOutband登録となり、プロデューサ側が生成する「登録ハンドル」がなければコンシューマはプロデューサを登録できません。  「登録ハンドル」については「 <a href="#">1.1.2.3 登録コンシューマについて</a> 」を参照してください。
<b>登録検証クラス(必須)</b>	コンシューマごとに設定された登録プロパティの値をチェックするクラスです。  初期設定されているクラスでは値の未入力チェックと「im_user」プロパティに設定されたログインユーザの存在チェックを行います。
<b>登録プロパティ</b>	ここではプロパティのキーと説明を登録します。  このプロパティにはコンシューマがプロデューサを利用する際の付加情報を設

定することができます。

ここで設定したプロパティに対してコンシューマごとに値を設定することができます。

intra-martでは初期値として「im\_user」というプロパティを保持しています。これはintra-martのポートレットをWSRPポートレットとして利用する際に必須となるプロパティです。



- 登録プロパティの追加を行った場合に追加されたパラメータを利用するにはプロデューサ内部の実装が必要となります。
- 登録検証クラスを変更するためには、初期設定されているクラスを拡張する必要があります。



Column

## 登録プロパティ「im\_user」について

コンシューマ側でプロデューサを登録する際に「im\_user」には、プロデューサで利用可能なログインユーザIDを入力する必要があります。

ポートレット表示時には、入力されたログインユーザIDのユーザとしてプロデューサにログインし、そのポートレットが表示されることになります。

ログインユーザIDの入力はこの後に説明する登録コンシューマ、登録プロデューサにて行います。  
(WSRPとして公開用のログインユーザIDを必要に応じて別途作成してください)



### 1.2.2.2 プロデューサ更新

1 プロデューサー一覧画面の更新するプロデューサの左にある[編集]アイコンをクリックします。

プロデューサー一覧			
新規登録		最新情報	
昇順 降順		1-2/2 表示中	
編集	コンシューマ管理	プロデューサ名	有効
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ImDefaultProducer	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	SampleProducer	<input checked="" type="checkbox"/>
昇順 降順		1-2/2 表示中	

<プロデューサー一覧画面>

## 2 プロデューサ編集画面で更新する内容に編集後、[更新]ボタンをクリックします。

🏠 プロデューサ編集

🏠 一覧へ戻る

プロデューサ名	SampleProducer												
WSDL URL	<a href="http://localhost:8080/imart/wsrp/wSDL/default/SampleProducer">http://localhost:8080/imart/wsrp/wSDL/default/SampleProducer</a>												
状態	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効												
ポータル名 (必須)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">公開</th> <th>ポータル名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Googleガジェット</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>インターネット</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>リンク集</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>全文検索</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>新着タスク</td> </tr> </tbody> </table>	公開	ポータル名	<input type="checkbox"/>	Googleガジェット	<input type="checkbox"/>	インターネット	<input checked="" type="checkbox"/>	リンク集	<input type="checkbox"/>	全文検索	<input type="checkbox"/>	新着タスク
	公開	ポータル名											
	<input type="checkbox"/>	Googleガジェット											
	<input type="checkbox"/>	インターネット											
	<input checked="" type="checkbox"/>	リンク集											
<input type="checkbox"/>	全文検索												
<input type="checkbox"/>	新着タスク												
Inband登録	<input checked="" type="radio"/> サポート済み <input type="radio"/> 未サポート												
登録検証クラス (必須)	jp.co.intra_mart.foundation.portal.wsrp.producer.registration.validator.i												
登録プロパティ	<div style="margin-bottom: 5px;">🏠 行を追加</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">削除</th> <th>名前</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>im_user</td> <td>ログインユーザ</td> </tr> </tbody> </table>	削除	名前	説明	<input type="checkbox"/>	im_user	ログインユーザ						
削除	名前	説明											
<input type="checkbox"/>	im_user	ログインユーザ											
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="削除"/>													

<プロデューサ編集画面>

### 1.2.2.3 プロデューサ削除

#### 1 プロデューサー一覧画面の削除するプロデューサの左にある[編集]アイコンをクリックします。

🏠 プロデューサー一覧

🏠 新規登録 🏠 最新情報

📁 昇順 📁 降順 1-2/2 表示中

編集	コンシューマ管理	プロデューサ名	有効
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ImDefaultProducer	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	SampleProducer	<input checked="" type="checkbox"/>

📁 昇順 📁 降順 1-2/2 表示中

<プロデューサー一覧画面>

## 2 プロデューサ編集画面の[削除]ボタンをクリックします。

🏠 プロデューサ編集

🏠 一覧へ戻る

プロデューサ名 SampleProducer

WSDL URL <http://localhost:8080/imart/wsrp/wsd/default/SampleProducer>

状態  有効  無効

---

**ポータル(必須)**

公開	ポータル名
<input type="checkbox"/>	Googleガジェット
<input type="checkbox"/>	インターネット
<input checked="" type="checkbox"/>	リンク集
<input type="checkbox"/>	全文検索
<input type="checkbox"/>	新着タスク

Inband登録  サポート済み  未サポート

**登録検証クラス(必須)** `jp.co.intra_mart.foundation.portal.wsrp.producer.registration.validator.i`

登録プロパティ

	名前	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	削除	
<input type="checkbox"/>	im_user	ログインユーザ

更新 削除

<プロデューサ編集画面>



- プロデューサを削除した場合は、そのプロデューサの管理する登録コンシューマもすべて削除されます。



### Column

## コンシューマに対する影響について

プロデューサを更新、削除した場合、すでに登録済みのコンシューマとの整合性がとれなくなる場合があります。

更新した場合はコンシューマ側の管理者に登録プロデューサの「サービス情報の更新」を行ってもらう必要があります。

削除した場合はプロデューサの利用ができなくなるため、コンシューマ側でも同様に登録プロデューサを削除しなければなりません。

利用中のプロデューサを更新、削除する場合は必要に応じてコンシューマの管理者に連絡してください。





## 1.2.2.4 登録コンシューマー一覧

1 プロデューサー一覧画面のプロデューサの左にある[コンシューマ管理]アイコンをクリックします。

プロデューサー一覧			
新規登録		最新情報	
昇順 降順		1-2/2 表示中	
編集	コンシューマ管理	プロデューサ名	有効
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ImDefaultProducer	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	SampleProducer	<input checked="" type="checkbox"/>
昇順 降順		1-2/2 表示中	

<プロデューサー一覧画面>

2 登録コンシューマー一覧画面が表示されます。

登録コンシューマー一覧		
プロデューサー一覧へ戻る 新規登録		最新情報
昇順 降順		1-1/1 表示中
編集	コンシューマ名	登録ハンドル
<input type="checkbox"/>	IntramartWSRPCConsumer	VBJ0DYAAAAANQFINR4AAAA
昇順 降順		1-1/1 表示中

<登録コンシューマー一覧画面>



- Outband用に作成した登録コンシューマだけでなく、Inband登録で自動生成された登録コンシューマも表示されます。

## 1.2.2.5 登録コンシューマ新規作成

手動での作成が必要になるのはOutband登録の場合です。

## 1 登録コンシューマ一覧画面のタイトルバーにある[新規登録]をクリックします。

編集	コンシューマ名	登録ハンドル
<input type="checkbox"/>	IntramartWSRPConsumer	VBUDYYAAAAANGFINR4AAAA

<登録コンシューマ一覧画面>

## 2 コンシューマ利用登録画面で必須項目を入力し[登録]をクリックします。

名前	値	説明
im_user		ログインユーザ

<コンシューマ利用登録画面>

### コンシューマ名(必須)

登録するコンシューマの名称を入力します。

### コンシューマエージェント(必須)

コンシューマ側の製品名、バージョンなどを入力します。

### GETメソッド

コンシューマがGETメソッドをサポートするかどうかを選択します。

### 登録プロパティ(必須)

プロデューサを利用するための値を登録します。この値はプロデューサの登録検証クラスでチェックされます。

Intra-martのプロデューサはim\_userにWSRP用のログインユーザIDを登録しなければ利用できません。

## 1.2.2.6 登録コンシューマ更新

1 登録コンシューマ一覧画面で更新する登録コンシューマの左にある[編集]アイコンをクリックします。

編集	コンシューマ名	登録ハンドル
<input type="checkbox"/>	IntramartWSRPConsumer	VB-J0DYAAAAANGFINR4AAAA
<input type="checkbox"/>	SampleConsumer	VWZBIWYAAAAABGFINR4AAAA

<登録コンシューマ一覧画面>

2 登録コンシューマ編集画面で更新内容を入力後、[更新]ボタンをクリックします。

名前	値	説明
im_user	aoyagi	ログインユーザ

<登録コンシューマ編集画面>



- Inband登録で自動生成された場合について  
 コンシューマ名、コンシューマエージェントはコンシューマ側で設定している値が登録されます。  
 また、GETメソッドは未サポートが選択されます。  
 これらの値はプロデューサ側で変更することが可能です。

## 1.2.2.7 登録コンシューマ削除

1 登録コンシューマ一覧画面で削除する登録コンシューマの左にある[編集]アイコンをクリックします。

編集	コンシューマ名	登録ハンドル
	IntramartWSRPConsumer	VBJODYAAAAAANGFINR4AAAA
	SampleConsumer	VWZBIWYAAAAABQFINR4AAAA

<登録コンシューマ一覧画面>

2 登録コンシューマ編集画面で[削除]ボタンをクリックします。

名前	値	説明
im_user	aoyagi	ログインユーザ

<登録コンシューマ編集画面>



## Column

## コンシューマに対する影響について

登録コンシューマの更新をした場合は、「登録プロパティ (im\_user) の値」を変更した場合のみコンシューマに影響があります。(その他の項目は影響がありません)

コンシューマがintra-martのプロデューサを利用する際は常に登録コンシューマに設定されている登録プロパティ「im-user」の値を使用してログインを行い、ユーザポートレットの利用を可能にしています。

そのためプロデューサの登録方法によりコンシューマには次の影響があります。

### Inband登録の場合

コンシューマの登録プロデューサに設定されている登録プロパティの値と実際に認証に使用される値が異なる可能性があります。

この場合、コンシューマ側で登録プロパティを入力しなおして登録プロデューサを更新することにより、プロデューサ側の登録コンシューマの設定を入力した値で更新しなおすことができます。

### Outband登録の場合

登録プロデューサに登録プロパティを持たないため影響はありません。

また、登録コンシューマを削除した場合は、Inband/Outbandによらず、該当のコンシューマはプロデューサの利用ができなくなります。

# 1.3

## WSRPコンシューマの管理

コンシューマでは、公開されているプロデューサを必要に応じて利用登録して管理します。登録されたプロデューサで公開しているポートレットは全て利用することが可能です。



### 1.3.1 コンシューマ設定

コンシューマ自身の名称を設定することができます。プロデューサに利用登録した際に登録されるコンシューマの名称となります。

- 1 左のメニューから[ポータル]>[WSRPコンシューマ]>[コンシューマ設定]をクリックします。コンシューマ名を入力後、[設定]ボタンをクリックします。

<コンシューマ設定画面>

#### コンシューマ名(必須)

コンシューマ名を設定します。Inband登録時にここで設定したコンシューマ名がプロデューサ側に自動生成される登録コンシューマの名前となります。

初期値は「IntramartWSRPConsumer」です。



## 1.3.2 登録プロデューサー一覧

- 1 左のメニューから[ポータル]>[WSRPコンシューマ]>[登録プロデューサー一覧]をクリックします。

<登録プロデューサー一覧画面>

### 有効チェックボックス

登録プロデューサーの状態を変更できます。変更内容は即座に反映されます。

チェック有り:有効 / チェック無し:無効



### 1.3.2.1 登録プロデューサー新規作成

プロデューサーを登録するには、利用登録したいプロデューサーの「WSDL URL」が必要です。  
また、Inband登録時には登録プロパティの値が、Outband登録時には「登録ハンドル」がそれぞれ必要となります。  
登録前にプロデューサー側の管理者に問い合わせる必要があります。

- 1 登録プロデューサー一覧画面のタイトルバーにある[新規登録]をクリックします。

<登録プロデューサー一覧画面>

## 2 プロデューサ利用登録1画面で「WSDL URL」を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

<プロデューサ利用登録1画面>

<b>WSDL URL (必須)</b>	登録するプロデューサのWSDL URLを入力します。
<b>テスト</b>	入力したWSDL URLのテスト表示を行います。
<b>クリア</b>	入力内容を削除します。

## 3 プロデューサ利用登録2画面で必須項目を入力し[登録]ボタンをクリックします。

❖ 「Inband で登録する」選択時

名前	値	説明
im_user		ログインユーザ

<プロデューサ利用登録2画面 - (「Inbandで登録する」選択時)>

❖ 「登録ハンドルを入力する」選択時

<プロデューサ利用登録2画面 - (「登録ハンドルを入力する」選択時)>



<b>プロデューサ名 (必須)</b>	コンシューマで管理するためのプロデューサの名称です。
<b>WSDL URL</b>	登録するプロデューサのWSDL URLです。
<b>登録方法</b>	プロデューサ側でInband登録をサポートしている場合のみ、選択することが可能です。サポートしていない場合はこの項目は表示されず、自動的にOutband登録となります。
<b>登録プロパティ (必須)</b>	登録方法で「Inbandで登録する」を選択時に登録プロパティがある場合のみ表示されます。ここに設定した値はプロデューサ使用時にプロデューサ側の登録検証クラスでチェックされ使用されます。
<b>登録ハンドル (必須)</b>	登録方法で「登録ハンドルを入力する」を選択時、もしくはプロデューサがInband登録をサポートしない場合に表示されます。入力する登録ハンドルはプロデューサ側の管理者にあらかじめ確認しておく必要があります。



## Column

### 「im\_user」に入力するログインユーザIDについて

im\_userにはプロデューサ側で利用可能なログインユーザIDを入力することになります。このログインユーザIDはプロデューサ側で管理されているユーザとなるため、コンシューマ側に存在するユーザのログインユーザIDを入力しないよう注意してください。

WSRPポートレットを利用する際には、ここで入力したログインユーザとして、プロデューサにログインします。プロデューサはログインしたユーザのポートレットをコンシューマに返し、コンシューマ側でWSRPポートレットとして利用されることとなります。

## 1.3.2.2 登録プロデューサ更新

1 登録プロデューサー一覧画面で更新する登録プロデューサの左にある[編集]アイコンをクリックします。

編集	プロデューサ名	プロデューサID	有効
<input type="checkbox"/>	NewProducer	VYQT0FIAAAAAANGFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	SampleProducerA	VYBVASYAAAAAFQFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	SampleProducerB	VYCBJPYAAAAAJGFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>

<登録プロデューサー一覧画面>

2 登録プロデューサ編集画面で更新内容を入力後、[更新]ボタンをクリックします。

名前	値	説明
im_user	aooyagi	ログインユーザ

<登録プロデューサ編集画面>

#### 状態

登録プロデューサの使用を有効か無効に選択します。

#### 登録ハンドル

プロデューサ側に登録コンシューマとして登録されている登録ハンドルです。Inband登録時は自動生成され、Outband登録時は入力した値です。



- Inband登録の場合は登録プロデューサに設定されている登録プロパティの値と実際に認証に使用されるプロデューサ側の登録コンシューマの登録プロパティの値が異なる場合があります。登録プロパティを入力しなおして、登録プロデューサを更新することにより、プロデューサ側に設定されている登録プロパティの値を入力した値で更新しなおすことができます。

### 1.3.2.3 登録プロデューササービス情報の更新

サービス情報の更新は最新のプロデューサの情報を取得し、登録プロデューサを最新状態にするために存在します。

プロデューサ側の管理者よりプロデューサの更新があると連絡を受けた場合や、登録プロデューサの更新が失敗した場合などはサービス情報の更新により登録プロデューサを最新状態にしてください。

- 1 登録プロデューサー一覧画面で更新する登録プロデューサの左にある[編集]アイコンをクリックします。

編集	プロデューサ名	プロデューサID	有効
<input type="checkbox"/>	NewProducer	VYQT0FIAAAAAANGFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	SampleProducerA	VYBVASYAAAAAFQFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	SampleProducerB	VYCBJPYAAAAAJQFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>

<登録プロデューサー一覧画面>

- 2 登録プロデューサ編集画面で[サービス情報の更新]ボタンをクリックします。

名前	値	説明
im_user	aoyagi	ログインユーザ

<登録プロデューサ編集画面>



- Inband登録時に登録プロパティがある場合は値がすべて初期化されます。  
サービス情報の更新後、値を入力して [更新] ボタンをクリックし、入力情報を反映してください。

## 1.3.2.4 登録プロデューサ削除

1 登録プロデューサー一覧画面で削除する登録プロデューサの左にある[編集]アイコンをクリックします。

編集	プロデューサ名	プロデューサID	有効
<input checked="" type="checkbox"/>	NewProducer	VYQTOFIAAAAAANGFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	SampleProducerA	VYBVASYAAAAAFQFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	SampleProducerB	VYCBJPYAAAAAJGFINR4AAAA	<input checked="" type="checkbox"/>

<登録プロデューサー一覧画面>

2 登録プロデューサ編集画面で[削除]ボタンをクリックします。

名前	値	説明
im_user	aooyagi	ログインユーザ

<登録プロデューサ編集画面>



- プロデューサ側がInband登録をサポートしている場合は登録プロデューサ削除時にプロデューサ側の登録コンシューマも削除されます。
- Outband登録の場合はプロデューサ側の登録コンシューマは削除されないため、プロデューサで削除されない限り、登録ハンドルの再利用が可能です。

# 1.4

## WSRPポートレットの利用

WSRPポートレットは他のポートレットと同様にポートレット一覧に追加することでポータル画面に追加し利用することができます。ポータル画面とポートレットの詳細については「ポータル グループ管理者操作ガイド」を参照してください。

### 1.4.1 ポートレット一覧への追加

1 左のメニューから[ポータル]>[ポートレット]をクリックし、タイトルバーにある[新規登録]をクリックします。

編集	設定	ポートレット管理先	アプリケーション	名称	説明	登録日	公開
<input type="checkbox"/>		ローカル	Google	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		ローカル	インターネット	インターネット	Webクリッピングポートレットです。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ローカル	リンク集	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		ローカル	グローバル	ログインポートレット	グローバルポータルで使用して下さい。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		ローカル	SOLR	全文検索	全文検索用のポートレットです。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		ローカル	ワークフロー	新着タスク	ワークフローの新着案件情報です。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		ローカル	RSS	朝日新聞RSS	アサヒ・コム速報ニュース見出しです。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		ローカル	サンプル	汎用新着情報	汎用新着ポートレットのサンプルです。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ローカル	システム	重要なお知らせ	システムからのお知らせ情報です。	2009/05/01	<input checked="" type="checkbox"/>

<ポートレット一覧画面>

2 ポートレット新規登録画面でページ種別に「ポートレットアプリケーション」を選択し、「ポートレット管理先」の右にある[検索]をクリックします。

基本設定

ローカル  日本語

アプリケーション(国際)

名称(必須)(国際)

ページ種別(必須)

ポートレット管理先(必須)

ポートレット名(必須)

オプション設定

タイトルの表示  使用する  使用しない

公開フラグ  公開  非公開

キャッシュの設定

ポートレットの説明(国際)

表示先ポータル種別  ユーザポータル  グループポータル  グローバルポータル

<ポートレット新規登録画面>

- 3 ポートレット検索結果画面でポートレット管理先が登録プロデューサのポートレットを選択し、[選択]ボタンをクリックします。

🏠 ポートレット検索結果 🗖️ 閉じる

ポートレット管理先  タイトル  🔍 検索

📂 昇順 📂 降順
1-15/15 表示中

	ポートレット管理先	タイトル	説明
<input type="radio"/>	ローカル	Google Gadget Portlet	GoogleGadgetポートレット
<input type="radio"/>	SampleProducerA	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。
<input type="radio"/>	SampleProducerB	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。
<input type="radio"/>	ローカル	Internet Portlet	インターネットポートレット
<input type="radio"/>	ローカル	JavaEE Framework Portlet	JavaEE開発モデル用ポートレット
<input type="radio"/>	ローカル	Jsp Portlet	Servlet,JSPポートレット
<input type="radio"/>	ローカル	LinkSet Portlet	リンク集ポートレット
<input type="radio"/>	ローカル	MenuLinkSet Portlet	メニューリンクセットポートレット
<input type="radio"/>	ローカル	Notepad Portlet	
<input type="radio"/>	ローカル	PresentationPage Portlet	プレゼンテーションページポートレット
<input type="radio"/>	ローカル	Rss Portlet	RSSポートレット
<input type="radio"/>	ローカル	SystemNotice Portlet	重要なお知らせポートレット
<input checked="" type="radio"/>	NewProducer	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。
<input type="radio"/>	SampleProducerA	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。
<input type="radio"/>	SampleProducerB	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。

📂 昇順 📂 降順
1-15/15 表示中

👉 選択

<ポートレット検索画面>

- 4 ポートレット新規登録画面で必要項目を入力し、[登録]ボタンをクリックします。

🏠 ポートレット新規登録 🏠 一覧へ戻る

**基本設定**

 ロケール 
 アプリケーション(国際) 
 名称(必須)(国際) 
 ページ種別(必須) 
 ポートレット管理先(必須)  🔍 検索
 ポートレット名(必須)

**オプション設定**

 タイトルの表示  使用する  使用しない
   
 公開フラグ  公開  非公開
   
 キャッシュの設定 
  
 ポートレットの説明(国際) 
  
 表示先ポータル種別  ユーザポータル  グループポータル  グローバルポータル

👉 登録

<ポートレット新規登録画面>



## 1.4.2 追加したWSRPポートレットの利用

ポートレット一覧画面で、ポートレットとして登録されたWSRPポートレットは、他のポートレットと区別されることなく、ポータル画面に追加して利用することができます。



<ポータル画面>



## intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.2

---

2010/04/01 初版

**ポータル WSRP 管理者 操作ガイド**

**株式会社 NTT データ イントラマート**

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 3階

TEL(03)5549-2821 FAX(03)5549-2816

E-mail : [info@intra-mart.jp](mailto:info@intra-mart.jp)

ホームページ : <http://www.intra-mart.jp>

Copyright 2000-2010 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

---

※本マニュアルに記載されている社名および商品名は、一般に各社の商標および登録商標です。